

- 日時 平成30年8月17日(金) 13:30 ~ 19日(日) 15:15
- 会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1)
- 定員 65名
- 受講資格 18歳以上

- 受講料 [一般]15,000円 [学生/かほく市民]10,000円
 ※18・19日の昼食と17・18日の夕食の計4回分の食事代が含まれます。
 ※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。
 ※宿泊を希望される方は、別途に宿泊費が必要となります。

■宿泊方法

- ◎ 合宿 ・概要:哲学館に隣接する「かほく市宇ノ気老人福祉センター」にて、大広間・中広間に男女に分かれて、蒲団を並べる「合宿」となります。お風呂は施設内の大浴場を利用できますが、洗面用具などはございませんので各自ご持参ください。
 ・申込:講座申込時に「合宿を希望する」としてください。
 ・定員:40名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。
 ・費用:2泊 5,000円 ※18・19日の朝食、計2回分の食事代が含まれます。
- ◎ 旅館 旅館は各自でご予約ください。 参考までに、宇野気駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。
 なごみ亭 (076)283-5550 [JR宇野気駅から徒歩2分] ※旧さか井や旅館

■交通アクセス

- 哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。
- ・自動車:北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。
 のと里山海道(白尾IC)から約5分。
 - ・電車:JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。
 宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。
 - ・飛行機:小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

- ◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。
 時間の都合が合うようでしたらご利用ください(なごみ亭を経由します)。

	〔行き〕 宇野気駅発	〔帰り〕 哲学館発
17日(金)	12:00、13:00	18:50
18日(土)	8:45	18:50
19日(日)	8:45	15:35

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。
 時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

- 申込締切 平成30年7月31日(火)
 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館
 〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地
 TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320
 E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp



■ 申込方法

下記①～⑩の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵送、メール、FAX可)。
 申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。 (*マークは、いずれかをご記入ください)

- ①名前(ふりがな) ②電話番号 ※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。
 ③住所・郵便番号 ④性別 ⑤年齢 ⑥参加回数 ⑦職業 ※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。
 ⑧「老人福祉センター」での合宿を *希望する/希望しない
 ⑨〔⑧で合宿を希望しない方のみ〕「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを *利用する/しない
 ⑩参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)
 ○(18日)研究会Ⅰ…… *第1希望 A / B / C / D / E、 *第2希望 A / B / C / D / E
 ○(19日)研究会Ⅱ…… *第1希望 A / B / C / D / E、 *第2希望 A / B / C / D / E
 ※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。
 ⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程でお書きください(研究会で自己紹介に使われることがあります)。

※上記項目のうち、都道府県および①⑥⑩⑪は、受講生に配布する冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。
 また、この個人情報、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。

◇受講生による研究発表が18日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。

※発表時間はお一人20分程度となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

	講師	8月18日(土) 研究会Ⅰ	8月19日(日) 研究会Ⅱ
A	美濃部仁	茶の湯と禅	西田「場所的論理と宗教的世界観」を読む
	講師のコメント	千利休の言葉を記したものとして尊重されてきた茶書『南方録』には、禅への大きな共鳴が認められます。同書「覚書」の中のいくつかの文章と、いくつかの禅の言葉を手がかりに、そこで大切にされているものについて考えます。	西田の思想の基礎構造を確認しながら「場所的論理と宗教的世界観」を読みます。世界が自己を表現するとはどういうことか、世界が自己を形成するとはどういうことか、その世界における我々の自己とは何かといったことを考えます。
B	大橋容一郎	西田哲学とカント哲学 —『自覚における直観と反省』のあとがき「種々の世界」を読む—	身体知の思想 —身体の認識とその表現を考える—
	講師のコメント	第二の主著のエッセンスが詰まったあとがき。西田が、当時の日本で隆盛のベルグソン、新カント学派、物理学基礎論に言及し、カント哲学との対比の中で自身の哲学を語る「種々の世界」を読みながらじっくり再検討します。	西田哲学は「知」でもあり「行」でもありましたが、最近になって、ソマティック(身体)心理学や運動論、教育論、看護やケア理論などで、異口同音に「身体知」が語られています。ボディワークを含む「身体知」の重要性を見直します。
C	菊地建至	「困っている」から始める 対話とクリティカルシンキング	ニーチェの言葉を文脈で読む
	講師のコメント	たいへんそうに見えるのに本人は「困っていない」という。困っていることをうまく言葉にできない人もいます。私が困ってはいけない、そんな気の使い方をする時もあるのかもしれない。「困っている」経験や「困っている」という言葉についてクリティカルシンキングの手法で考え、対話しましょう。	ニーチェの言葉を短く切り取った本がたくさん読まれているようだ。たしかに、短冊状になった言葉には、気の利いた助言になるもの、多義的で何やら意味深い感じがするものもある。でも、それだけでいいの。ニーチェの言葉を勝手に切り取らずに「どのような文脈で読むか」という視点で考え、対話しましょう。
D	鈴木亮三	ヘーゲル哲学への招待 —初期草稿から『精神現象学』までを読む—	働くことの哲学 —ドイツ観念論の可能性をさぐる—
	講師のコメント	初期草稿『キリスト教の精神とその運命』から『精神現象学』までを、一つのテーマに沿って主要部分を読み解きます。「難解なヘーゲル」という偶像を崩し、哲学そのものにも親しむことができましたと思います。	働くとは何か、なぜ人は働くのかについて、ヘーゲルとドイツ観念論のテキストを足がかりにして考察します。この問題に関する彼らの思想的軌跡と、その現代的展開についても取りあげたいと思います。
E	石井砂母亜	〈愛〉をめぐる旅 —絶対に結びつかぬものが〈結びつく〉ということ—	〈死の自覚〉とキリスト教 —西田哲学におけるキリスト教受容をめぐる—
	講師のコメント	「絶対に結びつくことのないものの結びつき」として〈愛〉の問題を考えます。プラトンの『饗宴』、『聖書』のたとえ話、また文学作品等を手引きしながら、皆さん一人ひとりと〈愛〉をめぐる旅に出かけたいと思います。	西田哲学の根本動機でもある「悲哀」や「死の自覚」を主題として西田の生涯を追い、彼のキリスト教受容を考えます。西田のテキストを読みつつ、皆さん一人ひとりと「死」の問題から見えてくる西田哲学とキリスト教の重なり合いを共有します。

※研究会で使用するテキストは、主催者側で用意します。

第38回夏期哲学講座 日程と講座内容

時間	8月17日(金)	8月18日(土)	8月19日(日)
7:00		起床	起床
8:00		朝食	朝食
9:00		研究会Ⅰ (選択制)	研究会Ⅱ (選択制)
10:00			
11:00			
12:00	12:00 受付(～13:30まで)	昼食	昼食
13:00	12:30 ビデオ上映「西田幾多郎」 (希望者のみ)		
14:00	13:30 開講式	(続き)	(続き)
15:00	13:45 講演会Ⅰ (公開)	14:30	14:30
16:00	16:15 オリエンテーション	14:45 講演会Ⅱ (公開)	14:45 閉講式
17:00	写真撮影・墓参	16:45	15:15
18:00	17:45 落日拝・夕食 (海岸)	17:00 研究発表	
19:00		18:00 夕食	
20:00	入浴・自由討論		

公開講演会

※受講生以外も聴講できます。(1回500円、申込不要)

8/17(金) 講演会Ⅰ 「意識の立場を超えるということーフヒテ哲学の深まりを跡づけつつー」

13:45～

美濃部 仁 (明治大学教授)

8/18(土) 講演会Ⅱ 「他人が心をもため「ゾンビ」ではないとどうして言えるのか？」

14:45～

野矢 茂樹 (立正大学教授)

講演会・研究会講師プロフィール

美濃部 仁 (みのべひとし)

京都大学で上田閑照に学ぶ。日本フヒテ協会会長、明治大学教授。心茶会会員。専門はドイツ近代哲学、日本哲学。論文「西田における知と絶対無」等。

野矢 茂樹 (のやしげき)

東京大学大学院で学ぶ。東京大学大学院教授を経て、立正大学教授。専門は哲学。著書『心という難問』『初めて考えるときのよう』等。

大橋 容一郎 (おおはし よういちろう)

上智大学大学院で学ぶ。日本カント協会会長、上智大学教授。専門は認識論、近現代哲学思想史、身体論。著書『カント全集』『広辞苑』(共著)等。

菊地 建至 (きくちたけし)

京都教育大学、京都大学大学院で学ぶ。金沢医科大学講師。専門は哲学、クリティカルシンキング教育。『子どもと倫理学ー考え、議論する道徳のために』(共訳)等。

鈴木 亮三 (すずきりょうぞう)

東北大学大学院で学ぶ。上智大学等講師。専門は近現代哲学思想。著書『ヘーゲル講義録入門』『ヘーゲルと現代思想』(共著)等。

石井 砂母亜 (いしいさもあ)

上智大学大学院で学ぶ。跡見学園中学校高等学校教諭、青山学院大学等講師。専門は西田哲学、キリスト教思想。論文「西田哲学とキリスト教:永遠・時間・愛」(博士論文)等。